

一般社団法人 琉球スポーツサポート (実施場所：沖縄県南風原町)

事業名 スポーツを活用した余暇活動における生涯学習環境の拡充

事業の趣旨・目的

- ・ 障がい当事者の卒業後の余暇活動として、スポーツを活用し、地域での新たな居場所づくりとして、地域の福祉事業所を活動場所とする。
- ・ スポーツ活動を習慣化し、地域のクラブ活動へも繋げていくことで継続的な学びが行えるようにしていく。
- ・ 定期的な健康モニタリング（健診）を行い、健康管理・維持に繋げる。
- ・ 中重度の当事者への新たな支援づくりとしての形を模索する。

事業実施体制・連携先

琉球スポーツサポート (実施主体)
沖縄県障がい者スポーツ協会・沖縄大学
社会福祉法人育成福祉会 (施設貸与) ・南風原町・南風原町社会福祉協議会・島尻特別支援学校

主な対象

視覚/精神/知的/発達/肢体/ (障がいの程度は問わない) ・健常者

活動分野

スポーツ/その他 (健康維持管理)

事業内容

【平日のスポーツ活動】

南風原町内障がい当事者へ平日スポーツ活動を週1回の頻度で提供する (全30回程度)。地域の社会福祉法人の事業所を借用して行う (福祉サービス提供時間外) 誰でもできる運動を中心に創作プログラムを作成し、参加者と身体を動かしていく。体の動かし方や、発達を促す運動を中心にしながら、中重度の当事者への「運動することのハードルを下げる」ことを目標に実施していく。定期的に血圧・体重などのデータを取る、面談などを行うなどで健康観察を行い支援者と共有する。

【休日のスポーツ活動】

南風原町内の中央公民館を使つての運動教室を2か月に1度の頻度で実施する。(年6回程度) 平日とは違うニーズに対応するとともに、体験ベースの活動として広く周知することで、平日の活動参加にもつなげていく。

【学校での余暇活動に関する学習会を開催】

特別支援学校や町内の公立学校の特別支援学級の子どもたちを対象に、卒業後の余暇活動に関する学習会を開催する。スポーツ体験教室や、卒業後の余暇活動に関する進路講話を実施。開催後の平日・休日のスポーツ活動参加者増加を目指す。

【南風原町Mix運動会・南風原町ボッチャ大会の開催】

地域との交わりを作るため、障がいの有無に関わらず参加できるスポーツのイベント・大会を開催する。開催後の平日・休日のスポーツ活動参加者増加を目指す。

事業終了後の目指す方向性

- ・ まずは、事業実施で得られるプログラム実施内容、環境整備、人材育成についてマニュアル化し、それを近隣の市町村から、沖縄県全体に周知、啓発し、各地域で活動を拡充していけるようにはたらきかける。
- ・ 地域で日常的に活動する障がい当事者を、地域に混ぜ込むため、定期的なMixイベントを開催したり、日常的なスポーツ活動に健常者も参加してもらうことで、ノーマライゼーション実現へのツールとしていく。

その他



【昨年度事業】
← 特支体験会
運動教室 →

